

実態調査結果を踏まえた課題認識等について

1 医療的ケア児者数の推移

年度	未就学児 (0～5 歳)	学齢児 (6～17 歳)	医療的ケア児計 (0～17 歳)	18～39 歳	児者計 (0～39 歳)
2025	653 人	1,084 人	1,737 人	421 人	2,169 人
(2019)	(709 人)	(682 人)	(1,391 人)	(545 人)	(1,936 人)

2 主な改善・未改善指標等

(1) 主な改善指標

2019 年度に実施した実態調査と比較すると、看護・介護の疲労度や就労の希望に対する現状等、主な指標において一定の数値の改善が見られるものもある。

① 現状の看護・介護の疲労度

＜0 全く疲れていない～3 疲れている～5 非常に疲れている、の 6 段階＞

	今回（2025 年度）	前回（2019 年度）
非常に疲れている	8． 1 %	1 0． 8 %
疲れている	1 8． 8 %	3 3． 4 %

② 平均睡眠時間

	今回（2025 年度）	前回（2019 年度）
6 時間未満の方	7 0． 5 %	7 4． 7 %
5 時間未満の方	3 3． 6 %	3 5． 3 %

③ 主な看護・介護者の就労状況

	今回（2025 年度）	前回（2019 年度）
就労している	3 9． 6 %	2 7． 0 %
就労したいがケアのため 就労できない	2 4． 4 %	3 8． 0 %

④ 看護・介護者に予定が入る場合はどうするか

	今回（2025 年度）	前回（2019 年度）
看護・介護できなくなる 予定はつくらない	9． 4 %	1 8． 6 %

(2) 主な未改善等指標

一方で、改善が見られない又は低下している指標や、前回調査と比較できない指標であって、あるべき水準に達していないと考えられる指標等も散見される。

① 医療的ケアを実施することになった時に困ったもしくは不安になったこと

	今回（2025 年度）	前回（2019 年度）
医療的ケアを家族が実施すること	6 8． 0 %	5 1． 2 %
子どもの急変時の対応	6 4． 8 %	6 2． 7 %
看護・介護者の緊急時における対応	6 0． 3 %	5 9． 2 %

② 医療的ケアを実施することになった時の看護・介護者の相談相手

・医療的ケア児等コーディネーター：3． 5 %

③ 看護・介護者からの看護・介護に関する相談相手

・医療的ケア児等コーディネーター：4． 3 %

④ 市町村の避難行動要支援者名簿への登録

	今回（2025 年度）	前回（2019 年度）
登録している	3 7． 2 %	3 8． 7 %

※ただし、登録をしていない方のうち、約 4 割の方が「知らなかったので、今後登録したい。」と回答している。

(3) 自由記載欄での主な指摘・意見（抜粋・要約）

【受け皿関係】

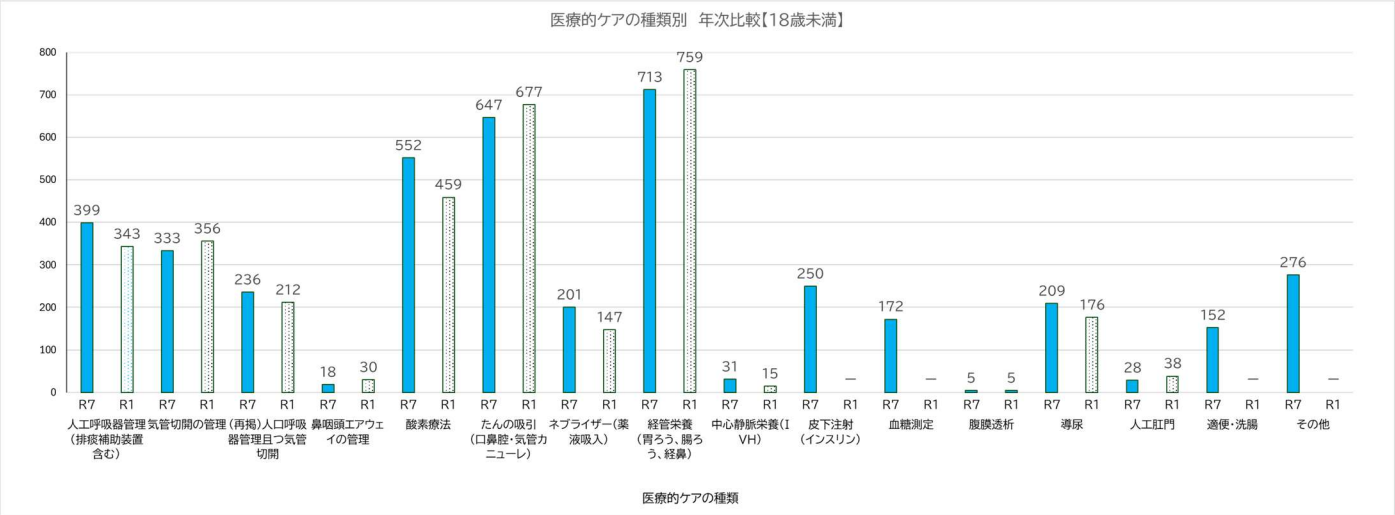
- ・住んでいる市では、利用できる支援や活動の場が十分に整っていないと感じる。関係するサービスの拡充に取り組んでほしい。
- ・学校に行くまでの小さいうちに通える場所が少なく、特に人工呼吸器を使用するような子どもは親が仕事を止めざるを得ない。
- ・動ける医ケア児で知的障害もあるので、レスパイトを断られており、自分たちが倒れたらどうするのかとても心配である。
- ・今後いつまで看護・介護できるか分からず、少しでも早く地域にグループホームを作ってほしい。

【行政等関係】

- ・子どもや家族の状況にあった福祉サービスがどのように存在するのか、情報を集める手助けをもっとしてほしい。
- ・自治体によって受けられる支援や仕組みが異なり、情報が集めづらい。
- ・行政の方に相談に行ったときに、気持ちに寄り添っていただけないことが多く、まずもっといろんなことを知ってほしい。
- ・医療的ケア児コーディネーターがどんな仕事をしているのか、どんな効果をもたらすのか、当事者には全然届いていないので教えてほしい。

3 実態調査結果の主な受け止め

- 県内の医療的ケア児（0～17歳）の数は、前回調査から行為の種類を追加していることを考慮する必要があるものの、一定程度増加しており、人工呼吸器管理かつ気管切開を行っているケア児も前回と同水準である全体の14％程度に及んでいる。
- 今回調査における、0歳児の数と在宅での医療的ケアの開始年齢のデータ等を単純に勘案しても、毎年新たに相当数の子どもが、在宅での医療的ケアを開始しているものと考えられ、その前提の中で、県及び市町村において、引き続き対応充実の検討が必要である。



- 在宅生活における日常的なケアを担う、看護・介護者の状況については、社会資源の増加や、医療的ケア児への障害福祉サービス等に係る枠組みの浸透、医療・介護機器の進歩、現場の支援者のご努力等により、一定の改善が進んだものと考えられる。
- ただし当然ながら、例えば社会資源が充足しているということではなく、地域差の問題も含めて、引き続き状況を捕捉していく必要がある。
- また、対応する社会資源としての受け皿等は増加していると考えられる中、医療的ケアを始める際のご家族が抱く不安感の数値は改善されておらず、特に在宅での医療的ケアの入り口における伴走体制の充実を図ることが重要と考えられる。

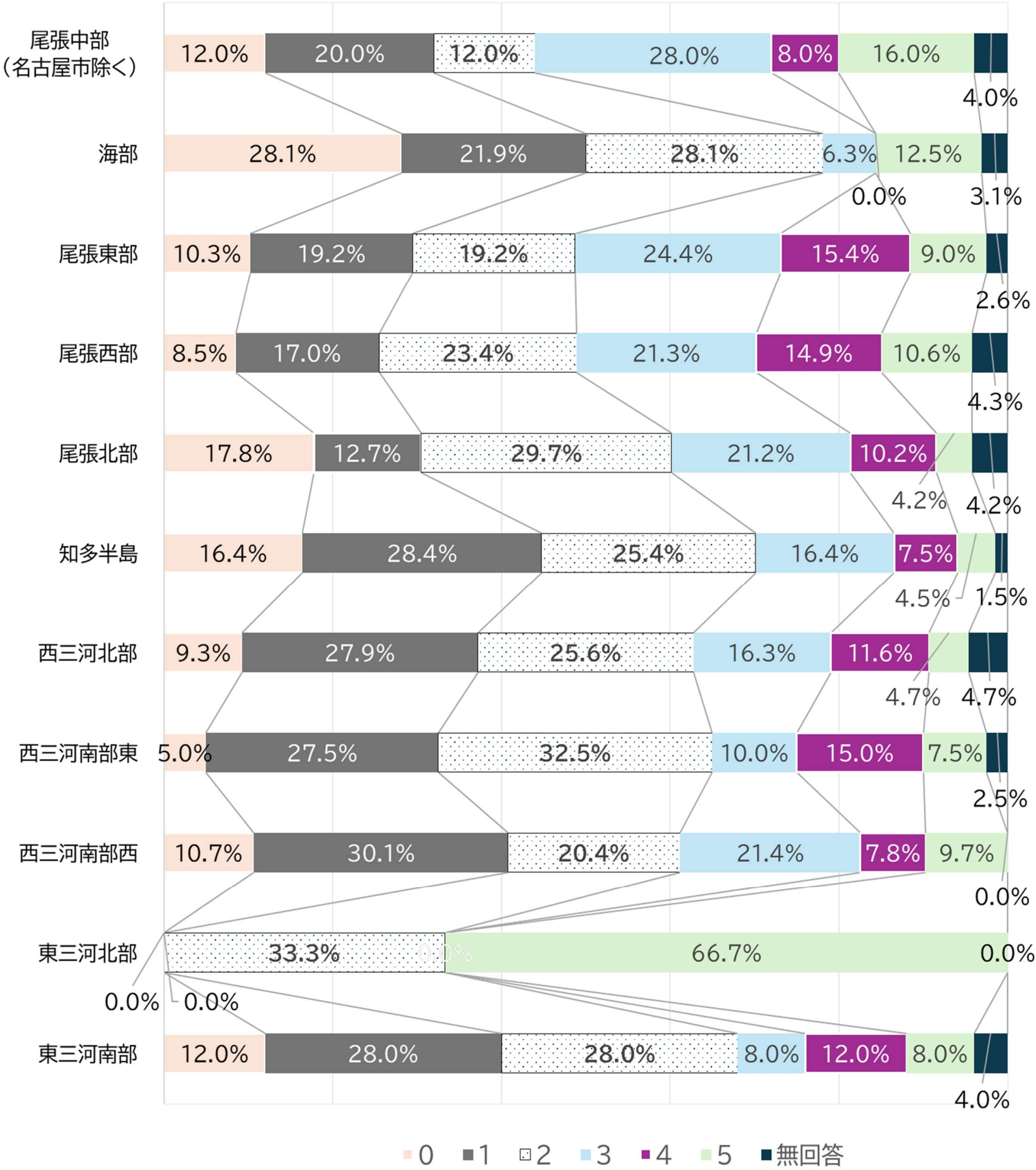
4 今後の取組の方向性

以上の認識等を踏まえ、当面検討を進める取組の方向性を下表のとおり整理し、医療的ケア児支援センターが培ってきた知見等も活用しながら、できる取組から順次具体的な検討に着手する。なお、取組の検討にあたっては、今般のいわゆる医ケア法一部改正の動きに係る影響も適切に考慮する。

項 目	取組の方向性等	具体的な取組の検討例
社会資源の確保・充実	○医療的ケアに対応できる児童発達支援事業所や放課後等デイサービス、短期入所（レスパイト）等の量及び質の向上を図るとともに、地域差のさらなる把握及び是正に努める。	・児童発達支援事業所等に対する医ケア関係研修の充実 ・新規参入を促進するための講習等の実施 ・社会資源の状況確認及びそれに基づく対応
家族への伴走	○市町村における医療的ケア児支援への理解促進に努めるとともに、医療的ケア児等コーディネーターのさらなる周知、実働を促進する。	・好事例（退院時連携等含む。）の収集・横展開の推進 ・コーディネーターフォローアップ研修の充実 ・家族同士の交流促進
災害時の対応	○災害時に対する不安が可能な限り軽減されるよう、日頃からの備えの充実（避難行動要支援者名簿への登録の促進等）に取り組む。	・医ケア児支援センターへの非常用電源機器の整備（R8 実施予定） ・市町村に対する働き掛け・情報提供

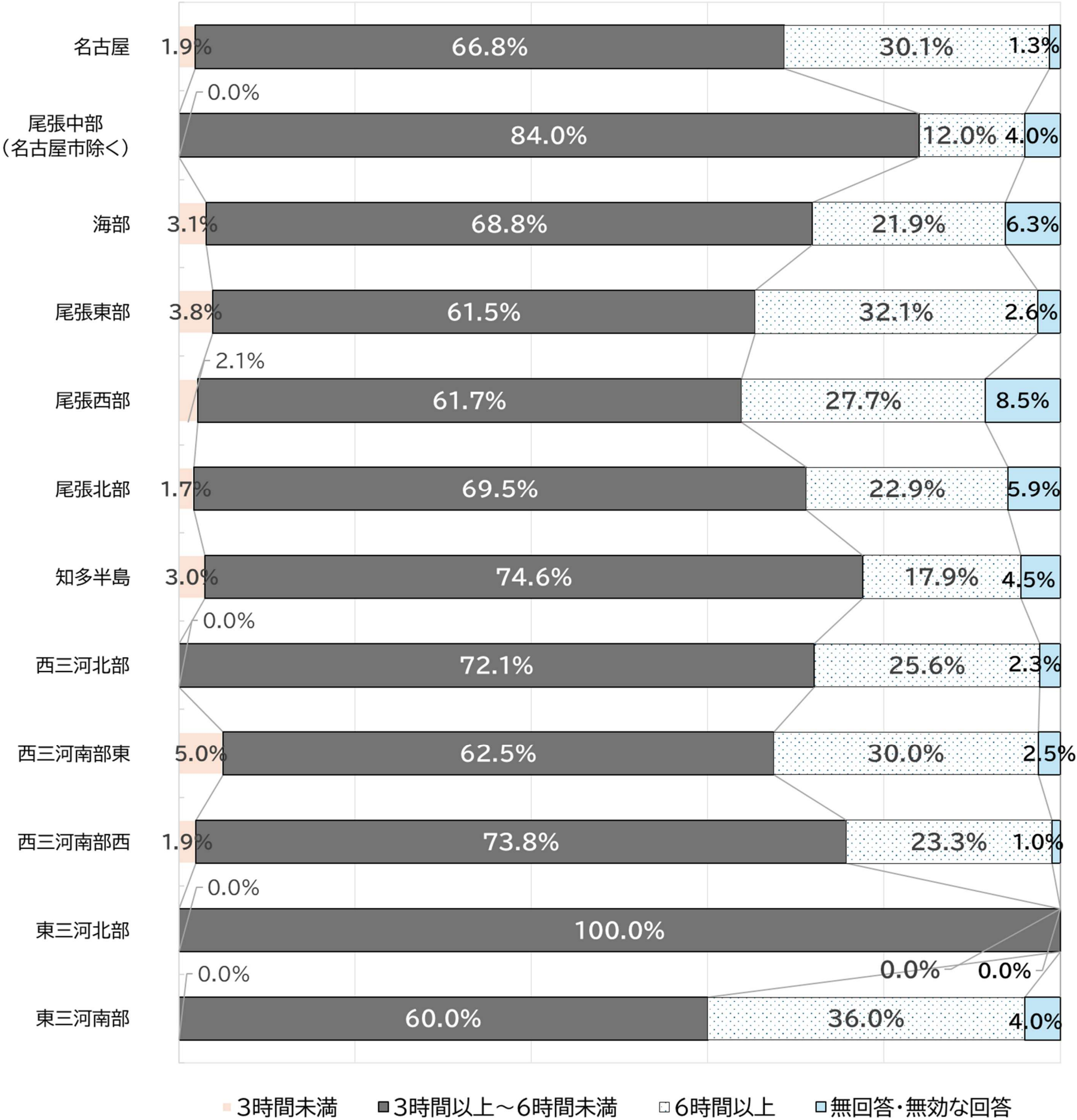
問24-1 R7主な看護・介護者の疲労度【n=581】※名古屋市除く 件

	0.全く疲 れていな い	1.どちら かと言え ば疲れて いる	2.少し疲 れている	3.疲れて いる	4.かなり 疲れてい る	5.非常に 疲れてい る	無回答	合計
対象者数	76	130	143	109	60	47	16	581
	13.1%	22.4%	24.6%	18.8%	10.3%	8.1%	2.8%	100.0%
名古屋	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－
尾張中部 (名古屋市 を除く)	3	5	3	7	2	4	1	25
	12.0%	20.0%	12.0%	28.0%	8.0%	16.0%	4.0%	100.0%
海部	9	7	9	2	0	4	1	32
	28.1%	21.9%	28.1%	6.3%	0.0%	12.5%	3.1%	100.0%
尾張東部	8	15	15	19	12	7	2	78
	10.3%	19.2%	19.2%	24.4%	15.4%	9.0%	2.6%	100.0%
尾張西部	4	8	11	10	7	5	2	47
	8.5%	17.0%	23.4%	21.3%	14.9%	10.6%	4.3%	100.0%
尾張北部	21	15	35	25	12	5	5	118
	17.8%	12.7%	29.7%	21.2%	10.2%	4.2%	4.2%	100.0%
知多半島	11	19	17	11	5	3	1	67
	16.4%	28.4%	25.4%	16.4%	7.5%	4.5%	1.5%	100.0%
西三河北 部	4	12	11	7	5	2	2	43
	9.3%	27.9%	25.6%	16.3%	11.6%	4.7%	4.7%	100.0%
西三河南 部東	2	11	13	4	6	3	1	40
	5.0%	27.5%	32.5%	10.0%	15.0%	7.5%	2.5%	100.0%
西三河南 部西	11	31	21	22	8	10	0	103
	10.7%	30.1%	20.4%	21.4%	7.8%	9.7%	0.0%	100.0%
東三河北 部	0	0	1	0	0	2	0	3
	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%
東三河南 部	3	7	7	2	3	2	1	25
	12.0%	28.0%	28.0%	8.0%	12.0%	8.0%	4.0%	100.0%



問19-1 主な看護・介護者の平均睡眠時間【n=897】 件

	3時間未満	3時間以上～6時間未満	6時間以上	無回答・無効な回答	合計
対象者数	19	613	238	27	897
	2.1%	68.4%	26.5%	3.0%	100.0%
名古屋	6	211	95	4	316
	1.9%	66.8%	30.1%	1.3%	100.0%
尾張中部 (名古屋市を除く)	0	21	3	1	25
	0.0%	84.0%	12.0%	4.0%	100.0%
海部	1	22	7	2	32
	3.1%	68.8%	21.9%	6.3%	100.0%
尾張東部	3	48	25	2	78
	3.8%	61.5%	32.1%	2.6%	100.0%
尾張西部	1	29	13	4	47
	2.1%	61.7%	27.7%	8.5%	100.0%
尾張北部	2	82	27	7	118
	1.7%	69.5%	22.9%	5.9%	100.0%
知多半島	2	50	12	3	67
	3.0%	74.6%	17.9%	4.5%	100.0%
西三河北部	0	31	11	1	43
	0.0%	72.1%	25.6%	2.3%	100.0%
西三河南部東	2	25	12	1	40
	5.0%	62.5%	30.0%	2.5%	100.0%
西三河南部西	2	76	24	1	103
	1.9%	73.8%	23.3%	1.0%	100.0%
東三河北部	0	3	0	0	3
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
東三河南部	0	15	9	1	25
	0.0%	60.0%	36.0%	4.0%	100.0%



問20-1 主な看護・介護者の就労状況【n=897】

	就労したいが、看護・介護のためできない	就労希望がある、就職活動中	就労希望はない	就労している	産休・育休中	無回答	合計
対象者数	219	76	131	355	86	30	897
	24.4%	8.5%	14.6%	39.6%	9.6%	3.3%	100.0%
名古屋	43	41	53	146	33	0	316
	13.6%	13.0%	16.8%	46.2%	10.4%	0.0%	100.0%
尾張中部 (名古屋市を除く)	7	0	4	9	2	3	25
	28.0%	0.0%	16.0%	36.0%	8.0%	12.0%	100.0%
海部	10	3	6	9	3	1	32
	31.3%	9.4%	18.8%	28.1%	9.4%	3.1%	100.0%
尾張東部	25	4	4	32	11	2	78
	32.1%	5.1%	5.1%	41.0%	14.1%	2.6%	100.0%
尾張西部	13	5	8	17	3	1	47
	27.7%	10.6%	17.0%	36.2%	6.4%	2.1%	100.0%
尾張北部	28	8	17	46	11	8	118
	23.7%	6.8%	14.4%	39.0%	9.3%	6.8%	100.0%
知多半島	21	3	4	27	9	3	67
	31.3%	4.5%	6.0%	40.3%	13.4%	4.5%	100.0%
西三河北部	15	4	7	11	1	5	43
	34.9%	9.3%	16.3%	25.6%	2.3%	11.6%	100.0%
西三河南部東	17	4	4	9	3	3	40
	42.5%	10.0%	10.0%	22.5%	7.5%	7.5%	100.0%
西三河南部西	32	3	16	41	7	4	103
	31.1%	2.9%	15.5%	39.8%	6.8%	3.9%	100.0%
東三河北部	1	0	0	2	0	0	3
	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
東三河南部	7	1	8	6	3	0	25
	28.0%	4.0%	32.0%	24.0%	12.0%	0.0%	100.0%

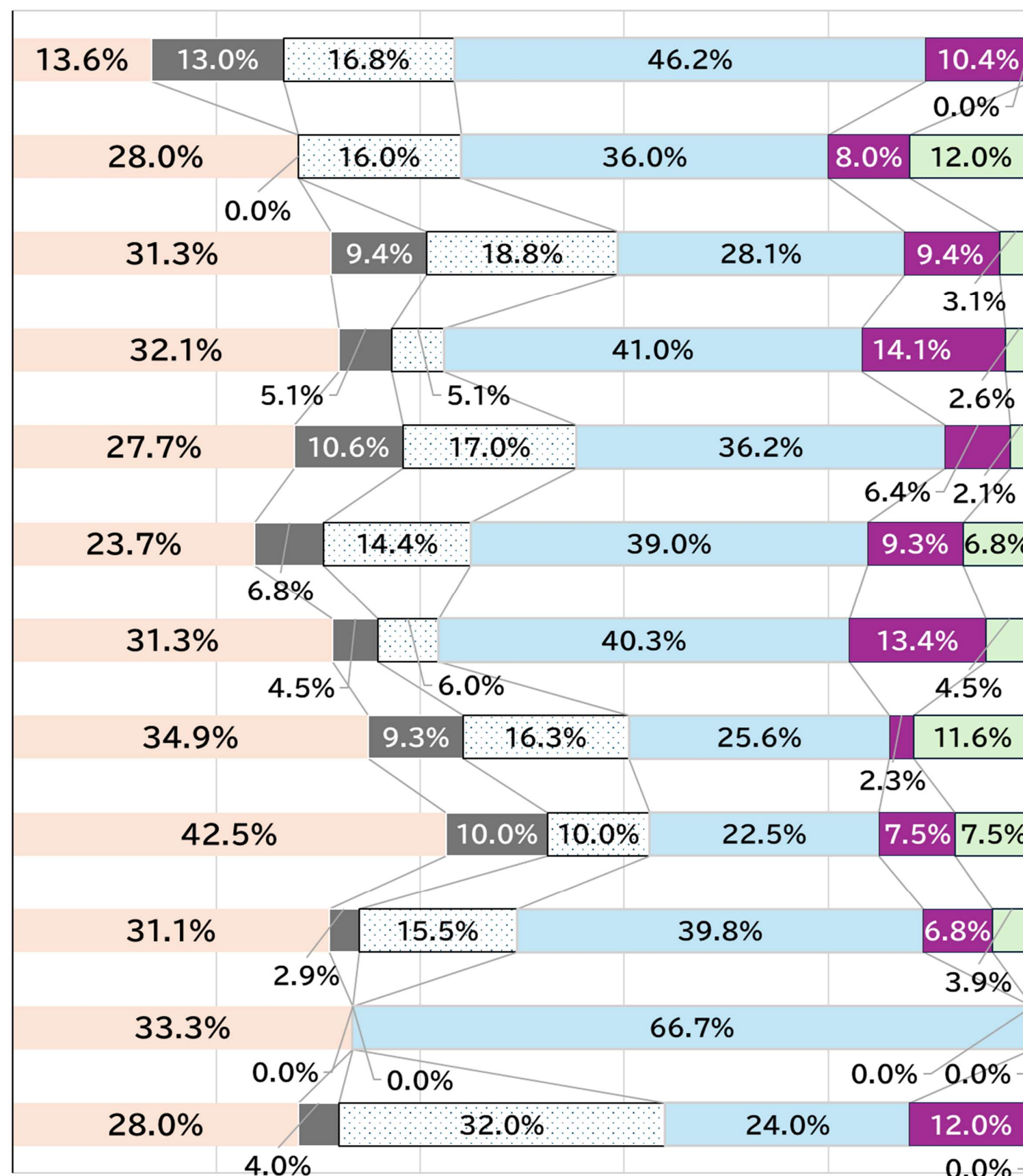
尾張中部
(名古屋市を除く)

西三河南部東

西三河南部西

東三河北部

東三河南部



■ 就労したいが、看護・介護のためできない

□ 就労希望はない

■ 産休・育休中

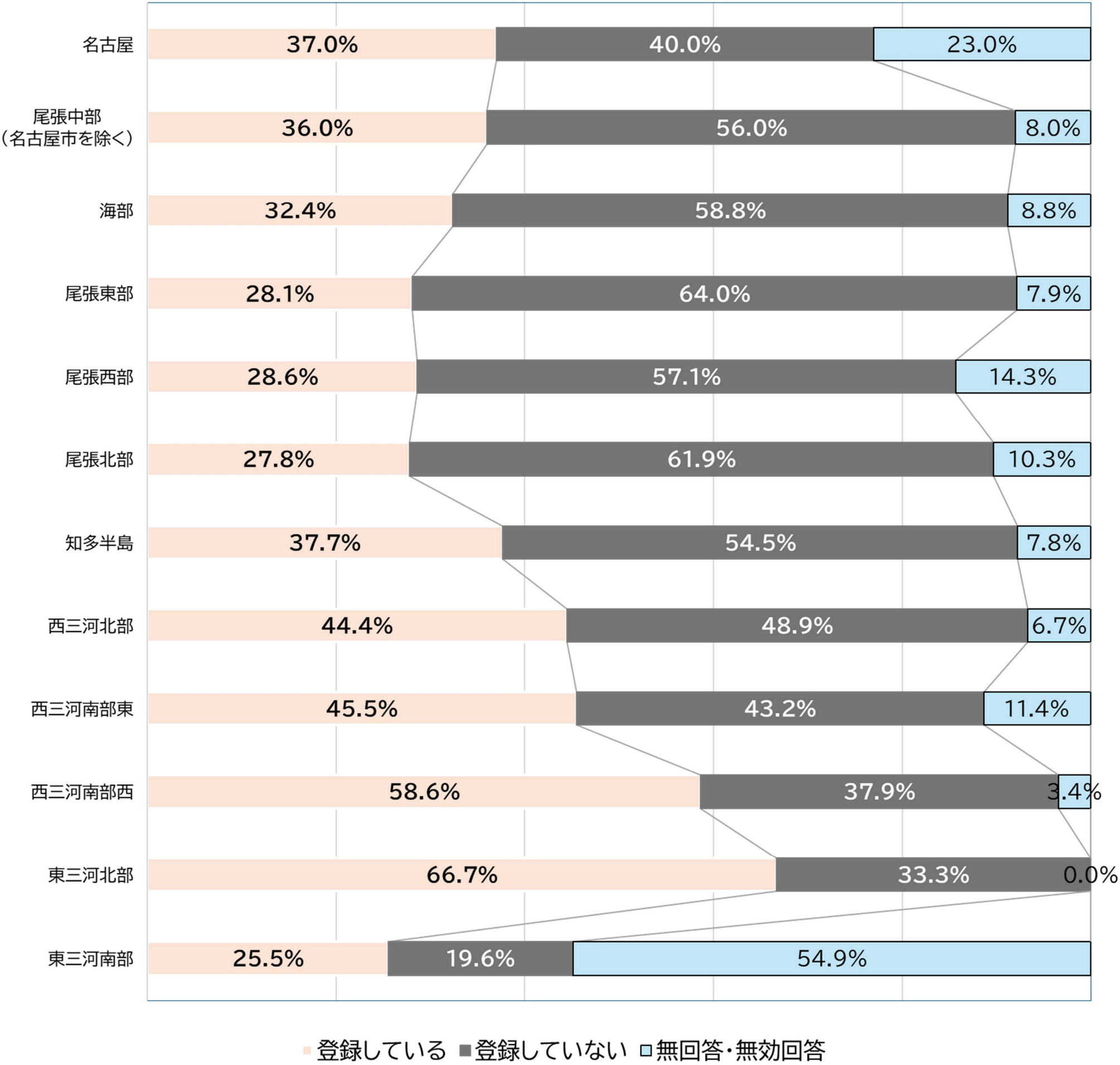
■ 就労希望がある、就職活動中

■ 就労している

□ 無回答

問37 R7避難行動要支援者名簿への登録【n=989】 件

	登録している	登録していない	無回答・無効回答	合計
対象者数	368	467	154	989
	37.2%	47.2%	15.6%	
名古屋	122	132	76	330
	37.0%	40.0%	23.0%	
尾張中部 (名古屋市を除く)	9	14	2	25
	36.0%	56.0%	8.0%	
海部	11	20	3	34
	32.4%	58.8%	8.8%	
尾張東部	25	57	7	89
	28.1%	64.0%	7.9%	
尾張西部	14	28	7	49
	28.6%	57.1%	14.3%	
尾張北部	35	78	13	126
	27.8%	61.9%	10.3%	
知多半島	29	42	6	77
	37.7%	54.5%	7.8%	
西三河北部	20	22	3	45
	44.4%	48.9%	6.7%	
西三河南部東	20	19	5	44
	45.5%	43.2%	11.4%	
西三河南部西	68	44	4	116
	58.6%	37.9%	3.4%	
東三河北部	2	1	0	3
	66.7%	33.3%	0.0%	
東三河南部	13	10	28	51
	25.5%	19.6%	54.9%	



障害児通所サービスにおける、いわゆる「動ける医療的ケア児」の受入れについて

1 背景・課題

- 障害を持つ子どもの日中活動や発達支援を担う、障害児通所サービス事業所（児童発達支援事業所・放課後等デイサービス）においては、その一部で医療的ケアを含めた対応が行われているところ。
- 医療的ケアを必要とする児の中でも、特に自発運動等が可能な、いわゆる「動ける医療的ケア児」については、重症心身障害児を始めとする重度の身体障害を持つ医療的ケア児とは異なる課題として、栄養管やカテーテルなどを抜いてしまったりポンプを倒してしまう可能性、また、他の利用者との接触や転倒のリスクなど、医療的ケアそのものに加えた、見守りや安全面で特に注意を払った運営が必要となる。
- 国は、2021 年度報酬改定において、障害児通所サービス事業所における医療的ケア児の受入れの裾野を広げるため、医療的ケア児の受入れを直接評価するための基本報酬を新設しており、この際、いわゆる「動ける医療的ケア児」にも対応した新たな判定スコア（基本スコア＋見守りスコア）の運用を始めている。
- 一方で、重症心身障害児であって医療的ケアのある子どもを中心に受入れを行ってきた事業所が多く、自発運動等が可能な医療的ケア児の見守り等に対応するための人的資源及び具体的なノウハウの不足により受入れが進みにくいものと考えられ、この旨、愛知県議会令和 8 年 6 月定例議会においても課題提起が行われた。

2 実態調査における関連データ

今回実態調査における関連項目として、「運動機能」の調査項目を 18 歳未満（圏域別）で再整理したところ、状況としては、「寝たきり」の方が 29.7%と最も多い一方で、次いで、「走れる」が 26.6%、「歩ける」が 9.9%と、全体で 3 割を超える方が一人で歩ける又は走ることができる、という結果であった。

【本人の運動機能】

		1.寝たきり	2.寝返り	3.腹ばい	4.四つばい	5.座れる	6.立てるが歩けない	7.介助すれば歩ける	8.歩ける	9.走れる	10.その他	無回答・無効回答	合計
名古屋		85	29	13	6	26	7	8	27	80	5	2	288
		29.5%	10.1%	4.5%	2.1%	9.0%	2.4%	2.8%	9.4%	27.8%	1.7%	0.7%	100.0%
尾張中部(名古屋市以外)		11	2	0	0	1	0	1	2	4	0	0	21
		52.4%	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	9.5%	19.0%	0.0%	0.0%	100.0%
海部		4	1	0	0	2	1	2	4	12	0	0	26
		15.4%	3.8%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	7.7%	15.4%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%
尾張東部		24	5	1	1	7	3	3	7	11	3	2	67
		35.8%	7.5%	1.5%	1.5%	10.4%	4.5%	4.5%	10.4%	16.4%	4.5%	3.0%	100.0%
尾張西部		11	4	0	0	6	1	0	7	10	0	2	41
		26.8%	9.8%	0.0%	0.0%	14.6%	2.4%	0.0%	17.1%	24.4%	0.0%	4.9%	100.0%
尾張北部		23	5	4	0	2	1	4	5	23	5	6	78
		29.5%	6.4%	5.1%	0.0%	2.6%	1.3%	5.1%	6.4%	29.5%	6.4%	7.7%	100.0%
知多半島		18	5	2	0	7	1	1	6	18	2	10	70
		25.7%	7.1%	2.9%	0.0%	10.0%	1.4%	1.4%	8.6%	25.7%	2.9%	14.3%	100.0%
西三河北部		12	1	1	0	4	0	2	2	9	1	1	33
		36.4%	3.0%	3.0%	0.0%	12.1%	0.0%	6.1%	6.1%	27.3%	3.0%	3.0%	100.0%
西三河南部東		8	2	2	0	2	0	0	7	15	2	3	41
		19.5%	4.9%	4.9%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	17.1%	36.6%	4.9%	7.3%	100.0%
西三河南部西		31	5	3	0	4	1	0	9	19	1	5	78
		39.7%	6.4%	3.8%	0.0%	5.1%	1.3%	0.0%	11.5%	24.4%	1.3%	6.4%	100.0%
東三河北部		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
東三河南部		6	2	1	0	1	0	0	2	8	0	24	44
		13.6%	4.5%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	4.5%	18.2%	0.0%	54.5%	100.0%
県 計	未就学期	83	34	17	3	21	11	8	43	57	7	24	308
	就学期【小・中】	109	20	8	3	33	3	11	26	133	11	23	380
	就学期【高】	42	7	2	1	8	1	2	9	20	1	8	101
		234	61	27	7	62	15	21	78	210	19	55	789
		29.7%	7.7%	3.4%	0.9%	7.9%	1.9%	2.7%	9.9%	26.6%	2.4%	7.0%	100.0%

※18 歳未満の医療的ケア児数 1,737 人のうち、ニーズ調査に回答のあった 789 人の集計。

3 当面の対応

こうした課題を改めて認識のうえ、まずは県内での受入れ状況及びこれに係る課題の実態について、医療的ケア児支援センターや医療的ケア児等アドバイザーなどを通じた聞き取り等を行うことで把握に努めるとともに、受入れ実績を持つ事業者にご協力いただきながら、受入れに係る実践的なノウハウに係る研修等の実施を検討していく。

- ・取組予定：県内の児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所等を対象に、既取組事業者の事例報告を軸とする研修会を開催